

平成29年3月 Vol.51

洋友滋賀

三洋電機洋友会滋賀地区

発行人 田中國夫
編集人 片岡耕作 池上浅夫

同好会活動報告

これまで2回にわたり10の同好会の内7つを紹介してきました。今回は最終3つの同好会をご紹介します。

囲碁同好会

池上 浅夫

「七十の手習い」はいかが
今年、一月九日・成人の日「新春囲碁大会」が
囲碁同好会の活動開始日
でした。

昨年同様石山駅近くのマ
ンションの一室において、
会員18名中13名の囲碁に魅
せられた方達の参加を得て
開催。磯上六段の優勝・藤
井三段の準優勝で幕を閉じ
ました。

本同好会は、年間を通して毎週火曜日の会員相互間の練習・研究の定例会と、年間事業としての対外戦及び会員対抗戦を実施してまいす。各々の結果は月刊会報として発行しています。

各会員の参加機会は、昨年は年間で53日もありました。自分の都合・体調に合わせ自由に参加し、楽しむことができます。囲碁は難しいというイメージがあるのですが、実は、ルールも少なく、とても入りやすいのです。老若男女問わず、でも、知れば知るほど奥深くなるのも事実。この世界に足を踏み込んだ囲碁ファンからは、深淵で不思議な魔力を持っている



どの嬉しい言葉を頂戴して
います。他のスポーツと違
い何歳から始めても遅すぎ
ることはない囲碁は、勿論
「七十の手習い」OKです。
今、海外含めて教育現場
で囲碁が注目されています。
これは囲碁を学ぶことが学
業成績向上に結び付く点に
あります。孫と囲碁の時間
を持つことが、遊びを通し
ての将来世代への
貢献と言える
でしょう。
皆さんも
一歩踏み
出してみ
ませんか。

パソコン同好会

原田 潔

月2回・1回2時間の学習
PC操作は楽しい!

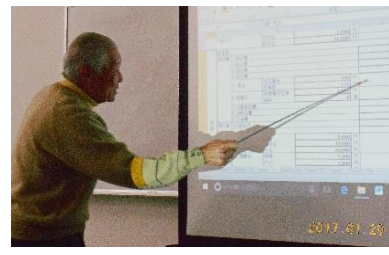
IOT(アイオーティ)やAI(エイアイ)など昨今の技術進歩はめまぐるしく変化しています。昔は読み書き算盤(そろばん)が必須でしたが、今や算盤や電卓では間に合いません。パソコンを使って三文の得といいますが、タブレットやスマートフォンもよろしいが、まずは道具としてのパソコンを見方にしたいたいです。

同好会では、便利にパソコンを使いこなすために、パソコン講座を開設しています。月に2回で、一回2時間の学習を続けていくうちに、出来る楽しさを味わっていただけます。



パソコン同好会は、クラス分けをしています。クラスは、従来から一通り学び終えた方達で、さらなる便利な技を求めて、いわゆる「裏技」を極めています。一方Aクラスは初心者コースで、全く初めての方でも参加できるように考慮しています。いずれも月に2回





パソコン同好会に参加をご希望の方は、ノートパソコンと延長コードをご用意の上、事前に幹事までご連絡ください。たのしく学びましょう。場所は、洋友会事務所横の会議室です。

麻雀同好会

畑中 道伸

老化対策に 指先トレーニングで 脳の活性化

リーチ・ポン・ロン…と元気な声が聞こえます。毎月第二火曜日、建部大社裏の「瀬田中宮自治会館」(メンバーの石田さんのご厚意で毎月お借りしています)に響き渡る声、声…です。毎回8〜10人の参加で、若い時から鍛えた実力(?)で力伯仲で全員に優勝のチャンスがあります。メンバーの意気込みは年齢を感じさせないものがあり、全員がこの日を楽しみにしています。特に今年の1月度は、1位から3位まで1点差の接戦であの時安くても上がっておけば、とか、あの時の上りが良かった等々、後悔の声も飛び交い、和気あいあいの雰囲気です。



とにかくメンバー全員がマーじゃんを愛し、大好きな人たちの集まりです。4人(時には3人)で卓を囲みながら、勝負だけでなく色々な情報交換もあり、元気を貰える一日であります。麻雀は頭を使うこと、指先を使うことから脳の活性化やトレーニング効果があると言われており、老化対策に何よりです。そしてそれ以上にインターネットやスマホにないコミュニケーションツールとして他に勝るものはないと思います。麻雀をやった経験のある方や関心のある方は是非一度きてみてください。はまってしまいますよ。

